

参加チーム確認事項

1. (ベンチ) 組み合わせ番号の若い方のチームが1塁側になります。
2. (ゼッケン) 先発メンバー10人は打順通りの1～10番のゼッケンを付け、11～20番も控え交代選手としてゼッケンを付けます。ゼッケンは試合終了まで付けたままで、途中で取り替えたり、取り外したりはできません。
3. (選手交代) 代打、代走、守備交代はいつでもできますが、再出場(リ・エントリー)はできません。

(注記)ティーボール競技規則(3-3)の「登録されている選手は1試合につき1イニング以上出場するか、または、1度だけ打撃を行わなければならない」のルールは本大会では採用しません。

4. (イニング) 1回戦は、勝敗に関係なく全試合3イニング表裏を完全に行います。2回戦以降、勝敗が決した時点で試合終了となります。

※プログラム冊子等記載の試合開始時刻より、早めに試合会場に集合してください。

5. (守備位置) ①本塁手以外の選手は競技規則の基本的に守備する位置はありますが、フェア地域内であれば必ずしもそれに準じる必要はありません。ただし、打者が打撃するまでは1・2塁間及び2・3塁間の仮想線の後ろで守備しなければなりません。②本塁手は右・左打者にかかわらず、打者が打撃するまではバッターズサークルの外側で、バッティングティーの後方で守備しなければなりません。
6. (打者) バットの放り投げは、デットラインを超えるか、又は危険な行為と球審が判断した際はアウトになります。
7. (10番打者の扱い) 各回の10番目の打者は、野球やソフトボールの2アウトの打者のイメージで、この打者の打撃後最初のアウトの時点でボールデットとなり攻守交代になります。
8. (最終回最終バッターの扱い) 最終回最終バッターるとき、ボールを保持した守備者が本塁ベースを触塁した時点で 審判は「アウト」とし、「ゲーム終了」です。
9. (同点時のタイブレーカーと抽選) 同点の場合はタイブレーカー大会特別ルールを採用します。前イニングの出場選手の8・9・10番打者を3・2・1塁走者満塁とし、1・2・3番打者の3人が打撃します。表裏の攻撃を行って勝敗を決めますが、さらに同点の場合は4・5・6・7・8番打者5人での抽選を行います。

10. (ファール：違反) 打撃時に、軸足が2歩以上の移動、並びにバントやハーフスイング、及びプレイ宣告後10秒たっても打撃をしないと「ファール」が宣告され、ワンストライクとなります。ツーストライク後に行うと「アウト」になります。
11. (ボールの返球のお願い) ボールデッド中、ボールを野手から直接相手ベンチに返球するのは避け、出来るだけ本塁手に返球してください。
12. (打撃チームへのお願い) 打撃順に座って待ちます。次打者はベンチ内先頭でボールを持ち、待機します。打者と同じバットを使用する場合は速やかにバットを保持してください(使用しないバットの場合は次打者に渡す)。円滑な進行にご協力ください。
13. (バット) 日本協会では、SG (Safe Goods) マーク製品(一般財団法人製品安全協会)バットを用意しました。本大会では、このバットの使用を義務づけます。
14. (アスクと選手交代) アスク(質問)できる者は主将か副将のみである。選手交代を告げるのは、主将、副将、または当該選手である。
15. (試合前後の挨拶) 各チームベンチ前に整列して行う。バッターズサークルに沿って整列し、ハイタッチでのあいさつは感染防止の観点から実施しません。
16. (その他)
 - 打順表(オーダー表)の提出の必要はありません。
 - ランナーコーチを置くことはできません。
 - 各チーム1試合目に限り、先攻を決める際、主将、引率者を呼び、アスク(質問)、選手交代について周知します。
 - その他のルールについては「公認ティーボール規則」に準じます。
 - 原則として3人制審判で行います。
 - 大会の風景の写真などは、日本ティーボール協会のホームページ、関係広報誌、新聞掲載などで使用させていただく場合がありますのであらかじめご了承ください。
 - 新型コロナウイルス感染防止のため、手洗いや消毒をこまめに行ってください。

